

舞鶴医療センター附属看護学校

まいづる☆かん GO!!

第25号発行日：平成31年 2月 13日

〒625-8502

京都府舞鶴市字行永 2410 番地

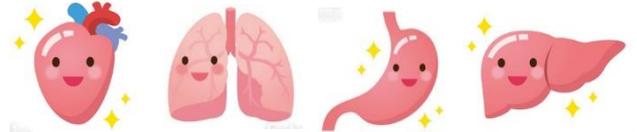
TEL：(0773) 63 - 4338 Fax：(0773) 63 - 3014

アドレス kyokan-d@maizuru-mc.jp



今年は暖冬と言われていますが、寒い日が続いています。インフルエンザも猛威を振るっており、わたしたちも体調に気を付けながらテストや実習にと毎日忙しい日々を送っています。そんなわたしたちの近況について掲載しています。

☆1年生 ☆71回生



～解剖生理学 I（解剖見学）～

9月6日に京都府立医科大学での解剖見学に行きました。授業ではイメージしにくい部分や初めて知る事がたくさんありました。例えば、胃の形は教科書に書いているより横に広がって幽門部から十二指腸まででUターンして少し潰れた形だと分かりました。一つ一つの臓器が単独で存在しているのではなく、関係し合っているということを知り、人の身体は非常に綿密な構造になっていることを知り、自分の知識を深めることができたように思います。解剖見学を通して、医療の発展のために自分の身体を提供してくださったご献体に感謝し、これからも学習していきたいと思いました。

～戴帽式での新たなスタート～

当校では、看護師を目指す決意をもう一度問い直し、看護に携わる者としての責任を自覚する大切な節目として戴帽式を実施しています。わたしたちは、一人ひとりが役割を持ち、みんなで協力して戴帽式を成功させると決意し、本番に向けて準備をしてきました。それぞれがなりたい看護師像を考え直し目標とする看護師像を明確にしました。病院関係者をはじめ、先輩方、先生方、来賓の方、家族に見守られた戴帽式の場でこれまでの感謝の気持ちやわたしたちの決意を表現できたと思います。ナイチンゲール誓詞の言葉を胸に刻み、多くの方に聞いてもらう事で自分の意識をより高める機会となりました。これから71回生全員で困難を乗り越え感謝の気持ちや初心を忘れることなく、素敵な看護師を目指していきたいです。



今年はキャンドルサービスを施行し、
厳かな空間で戴帽を受けました。



戴帽式終了後、いつもお世話になっている
担任を囲み写真撮影しました！



☆ 2年生 ☆70回生

～基礎看護学実習Ⅱを終えて～

9月18日から10月4日まで基礎看護学実習Ⅱに行きました。今回の実習では、初めて看護過程の展開を行い、導きだした看護問題の解決に向けて計画を立案し、援助を実践しました。日々変わっていく対象の変化を捉えることが大切であり、目的や根拠をもって観察し、対象理解することの難しさを実感しました。

私は、パーキンソン病薬の服薬調整とリハビリを目的に入院されている患者さんを受け持ちました。薬の副作用や運動機能障害により便秘が生じており患者さんは緩下剤を飲みたくないといわれていました。看護問題を便秘とし、緩下剤に頼らずに自然に排便ができることを目標に水分摂取の促しや温罨法、患者さん自身に腹部マッサージを計画しました。援助実施の判断を患者さんの今の症状だけで判断してしまい、正確な判断ができなかったこともあり、学生不在の時に排便があり、そのことを患者さんから教えていただきました。患者さんはとてもすっきりした表情をしており、患者さんの喜びに少しでも力になれることがこんなにも嬉しいことであることを知りました。また、対象の言葉をそのまま鵜呑みにせず、言葉の意味を考え、関連する情報も含めて理解していくことの大切さに気づきました。

現在、成人看護学実習の真っ只中です。基礎看護学実習Ⅱで学んだことを活かし、患者さんに必要な看護を実践できるよう学習に励んでいきたいです。



実習最終日にクラス全員で写真撮影♡



実習終了後のまとめの会は、実習の学習内容を整理する機会となりました。

☆ 3年生 ☆69回生

学校生活の様子～国家試験対策～

3年生の学校生活の様子について紹介します。3年生の今年の目標は「国家試験全員合格」です。

国家試験対策として朝や放課後の時間を有効に活用して、グループ学習を行っています。グループメンバーで分からなかった問題などを教え合い、調べた内容を共有しています。グループメンバーに教える際、各看護学実習で学習した内容を踏まえて、イメージしやすいように伝えることを工夫して伝えるようにしています。学生同士で教え合うことで、実習で受け持つことがなかった疾患であっても理解が進むこと、グループメンバー全員の知識を統合させて学習する事が出来ています。

2月17日に行われる看護師国家試験でクラス全員が合格できるようにさらに頑張っていきたいです。



☆わたしたちの実習レポート☆

看護学校は教育内容の3分の1の時間数が臨地実習です。臨地実習では看護職者としての心構えや臨機応変な対応力を養うために、母体病院である舞鶴医療センターをはじめとする医療機関で実習を行っています。

実習に行くときのスタイルや事前準備について少し紹介します☆彡

わたしたちの実習スタイル

主に実習で着用します。

清潔感のある身だしなみとなるよう、実習着のしわ、髪の毛、化粧、爪のチェックは欠かせません！



名札

入学年度ごとにカラーが異なります。

71回生（1年生）が黄色

70回生（2年生）が緑

69回生（3年生）が青です！！

実習カバン

学年ごとに色を選んで購入しています。

実習に必要なものを入れて実習場に持っていきます。

気になる実習カバンの中身は??

患者さんの観察に使う聴診器、血圧計ほか、電子辞書、実習前にまとめたノートやヘアピンなど身だしなみに関する物も持っていきます。テキストは厳選して持っていきます。（結構重たいです(-_-)）

実習着

ワンピースタイプとツーピースタイプがあります。購入時に選ぶことができます。動きやすいツーピースタイプが人気です。

この実習着は近畿グループ附属看護学校5校でお揃いなんですよ♡



実習を乗り越えたら
次は国家試験！！

看護学生のある日の1日

7:30 学校に到着。今日のスケジュールの確認や見学、実施するケアに関する事前学習をします。

8:20 病棟へ出発！ 毎日行くけど緊張する～(´▽`)

8:30 実習開始

昨日の夜から今朝にかけて状態の変化がないか確認！ 申し送り、検温をはじめ受け持ち患者さんのケアを行います。

12:30 昼食・休憩

13:30 午前に引き続き、患者さんのケア、記録、カルテの情報収集など

16:00 病棟実習終了！ 学校に戻って記録を仕上げるぞ！

17:00 終了。わからないことはその日のうちに解決！

教員に指導を受けてから帰る日も…。

18:30 下校 明日も頑張ろう！



☆ボランティア活動☆ ～車いす駅伝大会と子ども福祉機器展～

11月4日に車椅子マラソンのボランティアに参加し、小学生から大人まで幅広い年齢層の方々と交流しました。

私たちが実際に車椅子に乗って、参加者とチームを組み順位を競う車椅子駅伝を行いました。車椅子に乗って、自分で漕ぐというのは、腕が疲れ、とても大変だと感じました。参加者と協力し合えたこと、「頑張れー！」などたくさんの声援をいただけたことはとても嬉しかったです。

車いすマラソンのほか、参加者がマットを敷いて寝ころべるような空間をつくり、そこでボウリングやゴルフをしたり、ハンドベルで演奏したり、絵本を読んだりしました。重度の障がいを持つ子どもさんのケアにも参加させていただきました。レクリエーションに参加できるように拘縮部分をさすり、筋緊張をするお手伝いや、お子さんのお母さんと一緒におむつ交換をさせていただきました。お母さんから話を聴いている中で、「自分の子どもが障害を持って生まれてきて最初は衝撃や不安もあったけど、その子のペースでゆっくりだけ成長が毎日見られてすごく嬉しい。今となっては可愛くてしょうがない。」という心が温くなるような話を聴かせていただきました。今回のボランティアでは、直接ケアに参加したり、ご家族の思いを聞かせて頂いたとても貴重な体験となりました。



～その他ボランティア活動の紹介～



平成31年11月3・4日

まいづる作業所バザー

会場準備、販売のお手伝いをしました。



☆終わりに☆

次回（第26号）発行では、1，2年生の実習や予餞会、卒業式についてお届けします（^^）楽しみにしてください。

3月下旬に発行予定です。この学校新聞「まいづる☆かん GO!!」はホームページでも観覧できますので、一度ホームページも見て下さいね。アドレス (<http://www.hosp.go.jp/~maizuru/school>)



